

4) タイプの種類

表-2 選定表

「平成20年4月の標準積算単価使用」

	反力板種類	鉄筋補強土工 許容最大軸力	地盤反力q (kN/m ²)	図面	概算工費(直工)		備考	
					CASE(1)	CASE(2)		
独立 タイ プ	逆巻き支圧装置800×300 D-13	201.0kN	314.0	構造図(1)(2)	31,676円/基	36,876円/基	支圧板鉄筋D13の場合 CASE(1)塗装品 600円up CASE(2)亜鉛メッキ品 800円up	
	逆巻き支圧装置800×300 D-10	158.0kN	246.8		31,076円/基	36,076円/基		
	逆巻き支圧装置800×200 D-13	139.0kN	217.2	構造図(3)(4)	27,570円/基	32,770円/基		
	逆巻き支圧装置800×200 D-10	93.0kN	145.3		26,970円/基	31,970円/基		
独立 版 + の り 枠 タイ プ 3	800×300D-13 + 300×300	201.0kN	189.6	構造図(5)(6)	1.5m×1.5m	24,444円/m ²	26,755円/m ²	工事費範囲(ラス張り+YS支圧板+枠内厚層t=5cm) ジョイント処理工 +3,000円/基
					2.0m×2.0m	18,417円/m ²	19,717円/m ²	
	800×300D-10 + 300×300	158.0kN	149.1		1.5m×1.5m	24,177円/m ²	26,399円/m ²	
					2.0m×2.0m	18,267円/m ²	19,517円/m ²	
	800×200D-13 + 200×200	139.0kN	151.1	構造図(7)(8)	1.5m×1.5m	20,421円/m ²	22,732円/m ²	
					2.0m×2.0m	15,541円/m ²	16,841円/m ²	
	800×200D-10 + 200×200	93.0kN	101.1		1.5m×1.5m	20,154円/m ²	22,376円/m ²	
					2.0m×2.0m	15,391円/m ²	16,641円/m ²	
仮 設 時	1次支圧板(アングル、デッキプレート)	23.8kN	63.1	-	デッキプレート } 塗装	すべて溶融亜鉛メッキ		
					アングル } 取付用部品 電気亜鉛メッキ			

- 1) のり枠の主鉄筋 300×300 D16×2本 Mmax = 12.0MN.mm (許容曲げモーメント) 4) 単独立板の配置の仕方により単位の増減がある。
 2) のり枠の主鉄筋 200×200 D13×2本 Mmax = 4.0MN.mm (許容曲げモーメント)
 3) のり枠のタイプは { 枠スパン 1500×1500 の2種類とする
 { 枠スパン 2000×2000

(参考)

	反力板種類	鉄筋補強土工 許容最大軸力	地盤反力q (kN/m ²)	図面	概算工費(直工) 1m ² 当り	計算根拠	備考
の り 枠 タイ プ	のり枠 300×300(1500×1500) 1	118.0kN	145.7	-	20,470円/m ²	工事費範囲(ラス張り+法枠+枠内厚層t=5cm+頭部処理)	枠工単価 11.3千円/m 頭部処理-アルミキャップ4.8千円
	のり枠 300×300(2000×2000) 1	91.0kN	82.0		16,799円/m ²	工事費範囲(ラス張り+法枠+枠内厚層t=5cm+頭部処理)	
	のり枠 200×200(1500×1500) 2	39.8kN	71.1	-	15,933円/m ²	工事費範囲(ラス張り+法枠+枠内厚層t=5cm+頭部処理)	枠工単価 7.3千円/m 頭部処理-アルミキャップ4.8千円
	のり枠 200×200(2000×2000) 2	30.4kN	40.0		13,076円/m ²	工事費範囲(ラス張り+法枠+枠内厚層t=5cm+頭部処理)	